



〈鶴ヶ島市立藤中学校だより 第7号〉

学校教育目標

ともに学び、未来を拓くたくましい生徒の育成

藤中だより

保護者・地域に信頼される学校を目指して

〈目指す生徒像〉

- よく考え工夫して学ぶ生徒(知)
- 人と自分を大切にする生徒(徳)
- 心と体を粘り強く鍛える生徒(体)

令和8年10月1日 校長 竹田 聡

#### ＜年度の中間点を迎え＞

日頃より本校の教育活動にご理解、ご協力いただきありがとうございます。9月は天候の悪い日が続き、洗濯物を乾かすのも大変だったのではと推察します。

9月5日(土)に行われた文化祭では、多数の方に来校していただきありがとうございました。また、熊本地震義援金にご協力いただき感謝申し上げます。集まった義援金は生徒分と合わせて9月24日(木)に代表生徒と共に鶴ヶ島市役所を訪問し、市長へ手渡し致しました。

10月は学年の中間点です。前半の取組を振り返り、半年後の進級・進学に向けて、お子さんと一緒に考えてください。その際、目標のすりあわせをして、学習方法や生活習慣の見直しを図るようお願いします。

後期は夕暮れが早くなり、交通事故や不審者対応などの心配事も増えます。学校でも安全指導を行いますので、ご家庭もご協力をよろしくお願いします。

#### ＜藤中文化祭の継承＞

9月5日(土)に文化祭が開催されました。体育館のステージ発表で、吹奏楽部・美術部・技術学芸部の文化部が趣向を凝らした発表を行い、人権作文・英語スピーチコンテスト代表の発表、有志発表Fujiフェスが行われました。前年度と変わらぬ活動ができたことに安堵しています。

実は、文化祭前日の夕方、何の前触れもなく藤中学校全体の電気が落ちました。私はこれまでに、学校の一部のブレーカーが落ちたり、落雷や計画停電によって停電になったりした経験はありましたが、学校だけ停電になることは初めてでした。いろいろ確認しましたが復旧できず、業者の方をお願いしました。30分後に業者の方が到着し、1時間弱で復旧しました。停電は、学校の電源設備に、小動物(おそらくヤモリ)が入り込み、感電したことが原因だろうということでした。もし、文化祭の直前あるいは最中に停電になっていたら考えると、運がよかったと思います。今年は日本各地で豪雨等の災害が発生しているだけに、できて当たり前ではなく、できることへの感謝を実感しました。

文化祭を行っている中学校は、かなり少なくなっています。その背景には、文化部の部員減少、準備時間の確保など複数の理由があります。また、コロナ禍を機会に見直しを図り、廃止となった学校もあるようです。

コロナ禍を経ても、藤中の文化祭は、文化部をはじめとした先輩たちの取組が、引き継がれていると感じます。これからも生徒の力によって、藤中ならではの文化祭が継承されることを願っています。

#### ＜次の大会に向けて＞

9月15日(火)の生徒朝会で、入間北部新人大会に向けて、各部の決意表明がありました。入間北部大会が終わり、目標を達成できた部もあれば、達成できなかった部もあります。県大会に勝ち進めた部・選手は、藤中及び地区の代表として、活躍することを願っています。

勝ち負けの世界は、相手があつてのことです。自分たちがベストを尽くしても相手の方が上なら、勝つことは難しいと言えます。今回の大会で、悔しい気持ちがある人は、「悔しさ」をバネに次の大会に向けて、頑張ることを期待します。

「悔しさ」は、人が成長する上で大切だと私は考えています。「悔しさ」は、真剣に練習すればするほど、失敗したときや負けたときに大きくなります。ですから、「悔しさ」は取組のバロメーターになると思います。「悔しさ」で大切なことは、悔しい気持ちの向け方です。自分に向ければ「伸びしろ」になります。一方で、悔しさを人やルールなどの外に向ければ「憎しみ」になることがあります。ただ、プロでも、相手やチームメイト、審判へ感情的な批判が見られますので、簡単なことではないと思います。

「悔しさ」を自分に向ける第一歩として、心がけから考えてほしいと思います。具体的には、準備や片付け、用具の扱い、あいさつや服装など、当たり前をしっかりとやり切ること、すなわち「凡事徹底」です。

勝つことは簡単なことではありませんが、「凡事徹底」を通しての成功体験は、様々な面で役立ちますので、ご家庭でもご協力ください。

## ＜生徒の活躍＞

### 鶴ヶ島市内読書感想文コンクール

自由図書の部 最優秀賞 1名  
課題図書の部 最優秀賞 1名

### 鶴ヶ島市科学教育振興展覧会

銀 賞 1名  
努力賞 4名

### Tsurugashima,Ogose and Moroyama English Speech Contest 4th place

### 入間地区発明創意工夫展

優良賞 3名

### 新人体育大会入間北部大会（個人は入賞のみ）

野球（鶴ヶ島） 初戦惜敗

サッカー 3位

テニス男子 団体1位（県大会）

個人1位（県大会）

テニス女子 団体2位（県大会）

個人2位（県大会）

バスケットボール男子 初戦惜敗

バスケットボール女子 初戦惜敗

バレーボール2位（地区大会惜敗）

剣道男子 決勝トーナメント惜敗

剣道女子 団体予選リーグ惜敗

卓球男子 団体3位

卓球女子 団体3位（県大会）

陸上競技 男子総合1位 女子総合2位

＜男子＞（○県大会出場種目）

1年100m 2位

400m 5位 800m 5位

1500m 2位

3000m 1位 ○ 4位 ○

7位

110mH 2位 ○ 5位 ○

4×100mR 4位

走高跳 2位 ○ 4位

走幅跳 5位

砲丸投 8位 ○

四種競技 2位 3位

＜女子＞

1年100m 3位

2年100m 8位 ○

800m 2位 ○ 1500m 3位 ○

110mH 6位

4×100mR 4位 ○

走高跳 3位 ○

砲丸投 1位 ○

四種競技 2位 4位

県大会水泳女子（決勝進出者）

100mバタフライ 9位

200mバタフライ 8位

400m個人メドレー 7位

## ＜人が困っているとき助けると…＞

4月に、3年生で実施した「全国学力学習状況調査」の生活に関する質問について、関係があるか興味がわきました。調べたところ相関係数という方法があることを知りました。

相関係数とは、2つの変数の直線的な関係の強さと方向を  $-1 \sim +1$  の数値で表す指標です。値が  $+1$  に近いほど強い正の相関、 $-1$  に近いほど強い負の相関、0付近なら直線的関係が弱いことを示します。そして、次のように分類されます。

$+0.7 \sim +1.0$  かなり強い正の相関

$+0.4 \sim +0.7$  やや強い正の相関

$+0.2 \sim +0.4$  弱い正の相関

$+0.2 \sim -0.2$  ほとんど相関がない

$-0.4 \sim -0.2$  弱い負の相関

$-0.7 \sim -0.4$  やや強い負の相関

$-1.0 \sim -0.7$  かなり強い負の相関

(Microsoft Copilot Search 他)

今回、表計算ソフトを使って、相関係数を求めたところ、次の5つの質問には「正の相関」が他よりも強く見られました。

- ・人が困っているときは、進んで助けていますか
- ・学校に行くのは楽しいと思いますか
- ・自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか
- ・人の役に立つ人間になりたいと思いますか
- ・地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか

|           | 人が困<br>って… | 学校へ<br>行くのが | 自分と<br>違う意見 | 人の役に<br>立つ… | 地域や<br>社会を… |
|-----------|------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| 人が困っている…  |            | 0.41        | 0.30        | 0.48        | 0.43        |
| 学校へ行くのが…  | 0.41       |             | 0.36        | 0.32        | 0.33        |
| 自分と違う意見…  | 0.30       | 0.36        |             | 0.28        | 0.47        |
| 人の役に立つ人間… | 0.48       | 0.32        | 0.28        |             | 0.40        |
| 地域や社会をよく… | 0.43       | 0.33        | 0.47        | 0.40        |             |

この結果から、次のことを考えました。

「人が困っているときは、進んで助けている」と答えた生徒は、「人の役に立つ人間になりたい」「地域や社会をよくするために何かしてみたい」「学校に行くのは楽しい」と考える傾向にある。また、「自分と違う意見について考えるのは楽しい」と答えた生徒は、「地域や社会をよくするために何かしてみたい」と考える傾向もある。

困っている人を助けたり、地域や社会を考えたりする「思いやり」は、学校が楽しくなるなどよい影響があると推察します。「思いやり」は「ありがとう」と感謝される経験からも育まれます。

ご家庭でも、感謝の声かけをお願いします。